

資料番号

2-2

公立大学法人金沢美術工芸大学
平成26年度 業務実績評価書

平成27年 8月

金沢市公立大学法人評価委員会

目次

I	評価方法.....	1
1	評価の構成.....	1
2	項目別評価.....	1
	ア 法人による自己評価	
	イ 評価委員会による評価	
3	全体評価.....	2
II	評価結果.....	3
1	全体評価.....	3
2	項目別評価.....	4～8
	第1-① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）	
	第1-② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）	
	第1-③ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）	
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標	
	第3 財務内容の改善に関する目標	
	第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	
	第5 その他業務運営に関する重要目標	

I 評価方法

1 評価の構成

「項目別評価」及び「全体評価」による。

2 項目別評価

ア 法人による自己評価

法人が作成した年度計画の最小単位の項目（以下「小項目」という。）ごとに、法人自らが、その進捗状況を次の4段階の評価区分により、判断理由を付して評価する。

※ 年度計画の大項目第6から第10に関しては業務実績のみを記載

【評価基準】

評価区分	評価内容
Ⅳ	年度計画を上回って実施している。
Ⅲ	年度計画を十分に実施している。
Ⅱ	年度計画を十分には実施していない。
Ⅰ	年度計画を実施していない。

イ 評価委員会による評価

(7) 評価委員会は、法人が行った自己評価の結果について妥当性を確認し、法人と評価の結果が異なる場合は、評価が異なる理由を示すものとする。

(イ) 評価委員会は、(7)の評価結果を踏まえ、法人の業務実績を総合的に検証し、中期目標の次の大項目（大学の教育研究等の質の向上に関する目標については、中項目）ごとに、その進捗状況を次の5段階の評価区分により評価するとともに、特筆すべき事項や改善が望まれる事項についてコメントを付す。

年度計画	大項目（中項目）
第1	① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （教育に関する目標）
	② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （研究に関する目標）
	③ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 （その他の目標）
第2	④ 業務運営の改善及び効率化に関する目標
第3	⑤ 財務内容の改善に関する目標
第4	⑥ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標
第5	⑦ その他業務運営に関する重要目標

※（ ）内は中項目

【評価基準】

評価区分	評価内容
S	中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある
	※ 評価委員会が特に認める場合
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる
	※ 評価委員会の小項目別評価が全てⅣまたはⅢ(注)
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる
	※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割以上(注)
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
	※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割未満(注)
D	中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある
	※ 評価委員会が特に認める場合

(注) 評価区分は目安であり、社会情勢等の変化による進捗の遅れや、小項目の比重を考慮して評価委員会で判断

3 全体評価

評価委員会において、「項目別評価」の結果を踏まえ、中期計画の進捗状況全体について記述式により評価する。なお、評価を通じて得られた大学運営に関する課題や改善事項等についても、併せて記載するものとする。

また、評価制度が大学運営の検証という役割に加えて、大学の活動状況を市民に公表する役割も担っていることから、大学の特色ある取り組みや工夫等については、積極的に評価するものとする。

II 評価結果

□ 全体評価

年度計画に定めたほとんどの項目が着実に実施されており、項目別評価においても A 評価（中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）が 6 項目、B 評価（中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる）が 1 項目であり、中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調な実施状況にある。

公立大学法人への移行後 5 年目となった平成 26 年度は、業務内容を充実させるために積極的に取り組む姿勢が随所に見受けられた。

以下に、大学の特色ある取組や工夫等として評価できるものを挙げる。

- ・ 教育の質の向上に関しては、芸術に対する高い資質を持つ学生を募集し確保するため、平成 26 年度は新宿会場（東京都）を新たに加えた 8 カ所で芸術系進学相談会に参加したこと。また産学連携研究や地域での芸術活動について社会連携運営会議で教育効果を確認し、それを積極的に受託・参画して実社会の課題を通じ、経験を重ねる教育を実施したこと。
- ・ 研究の質の向上に関しては、平成 27 年度に行われたユネスコ創造都市会議の展示に向けて、これまで実施していなかった陶磁分野の資料収集に着手したこと。またアジア諸国との連携を図るため、ブータン王国からの研修員を引き続き受け入れるとともに中国山東省美術学院から漆の研究者を招き、また文部科学省の競争的補助金の獲得に向けた報告会や外部講師による応募書類の指導を行ったこと。
- ・ 社会連携に関しては、これまでの成果を「金沢美術工芸大学のちから～社会連携のあゆみとその実績～」として発信したこと及び引続き金沢市立病院との連携事業である「ホスピタリティ・アート・プロジェクト」を実施することにより教育研究成果を社会に還元したこと。
- ・ その他業務運営に関しては、「問屋まちスタジオ」で協同組合金沢問屋センターとの連携事業である「といかける美 2014」を通じてアートマネジメントの実践教育を行うとともに地域の交流の場となったこと。

□ 項目別評価

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 54 の小項目のうち、IV評価（年度計画を上回って実施している。）が 4 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が 50 項目と、全ての項目がIV又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 一般選抜試験の出願・入学状況や他大学との日程重複等を分析し、入試日程を決定した結果、他の芸術系大学（東京藝術大学、京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学）が志願倍率を下げた中、金沢美術工芸大学は上昇したこと。
- ・ 積極的な学生募集活動を展開するため、新たに東京、新宿会場を新たに加えた 8 箇所での芸術系進学相談会への参加や予備校、画塾と連携した進学相談会を行ったこと。
- ・ 企業や公共団体等からの依頼について、社会連携運営会議において内容と教育的な効果の確認を行い、産学連携事業・地域連携事業を実施し、その中のひとつである千枚田ポケットパーク整備計画が平成 26 年度いしかわ広告景観賞を受賞するなど社会から高い評価を得たこと。

2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 15 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 引き続き金沢市制 120 周年事業の一つである「平成の百工比照」収集作製事業を行った中で平成 27 年度に行われたユネスコ創造都市会議の展示に向けて、これまで実施していなかった陶磁分野の資料収集に着手したこと。
- ・ 世界に通じる芸術の研究拠点とするため、ブータン王国から工芸振興事業を担当するオフィサーを同事業に協力する取組の一環として引続き研修員を受け入れたこと。また中国山東省美術学院から漆の研究者を招き、日本の漆工芸の研究と中国現代漆芸の現状のレクチャーを行ったこと。さらに、ミャンマーのサウンダー染織学校及びヤンゴンコンピューター大学に教員 2 名を派遣し、国際交流のあり方と単位認定制度について意見交換を行ったこと。
- ・ 文部科学省の競争的補助金の平成 27 年度申請に向けて教育研究センター主催で科学研究費補助金申請支援報告会を実施するとともに、平成 25 年度の申請支援活動の報告及び審査結果の開示情報に基づき申請者本人による申請書作成時の留意点・反省点等について報告を行ったこと。また実技系研究の科学研究費補助金採択を目指した申請支援活動として平成 26 年度申請予定者を対象に外部講師を招聘して応募書類の添削会を開催したこと。

3 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）

評価	B （中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる。）
-----------	--

年度計画記載の23の小項目のうちⅢ評価（年度計画を十分に実施している。）が22項目、Ⅱ評価（年度計画を十分には実施していない。）が1項目であり、中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 実社会の課題を解決するために教育プログラムとして実践してきたこれまでの産学連携・地域連携事業の成果を「金沢美術工芸大学のちから～社会連携のあゆみとその実績～」として東京の銀座で発信したこと。
- ・ 金沢市立病院において、「ホスピタリティ・アート・プロジェクト」を継続実施しただけではなく、ギャラリートークを通じ、市民や病院スタッフと積極的な交流を行ったこと。

○ 改善が望まれる点

- ・ 一部国際交流協定締結校において派遣実績がなかったこと。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載11の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している。）が1項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が10項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 能力開発や専門性の向上を図るため、教職員に対する更なる支援制度を検討した結果、教職員の外国語研修支援制度を創設し、平成 26 年度は 3 名の支援を決定したこと

5 財務内容の改善に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)
-----------	--------------------------------------

年度計画記載 12 の小項目のうち、IV評価（年度計画を上回って実施している。）が 1 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している。）が 11 項目と、全ての項目がIV又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 大学の特性を生かした独自の自己収入増加策として教育研究基金への寄附を募るために、新たに「かなびサポーター」制度を創設し、545 千円の寄附を受けたこと。

6 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。)
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 9 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 自己点検・評価実施運営会議が全学的な中心となって自己点検・評価報告書を作成後、大学基準協会に提出し、実地調査を経て認証評価を受けたこと。

7 その他業務運営に関する重要目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。）
-----------	--------------------------------------

年度計画記載の 16 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 「問屋まちスタジオ」において、協同組合金沢問屋センターとの連携事業による「といかける美 2014」を開催し、アートマネジメントの実践教育の場とするだけでなく、講演会を実施し、地域の方々との交流の場としたこと。